

令和4年度 施設関係者評価のまとめ

令和5年2月20日

1 園で大事にしていること

主体的で対話的な学び

2 育てていくこどもの力

(1) 聞く力(学習能力とコミュニケーション能力)

(2) 良い人間関係を作る力

(3) 生活のルールを通して社会のルール理解しを守る力

(4) 集中して取り組む力

(5) 豊かな感性・五感

3 評価項目 5:十分達成されている 4:達成されている 3:達成されている

2:成果が十分でない 1: 不十分である

		取り組み内容	評価 (1)	評価 (2)	評価 (3)
1	設置者の 理念	上記の1.2を踏まえた園の運営が なされているか	4	4	5
2	教育課程	年間の指導計画や週案の作成は なされているか	5	5	5
		職員間の共通理解がなされているか	4	5	5
3	研修	園外研修に参加し保育の質の向上に 努めているか	5	4	5
	資質向上の 取り組み	定期的に園内研修を行い、内容を 職員全体で共有しているか	5	5	5
4	環境整備	施設の安全・維持管理のために 整備がなされているか	5	5	5

		遊具・図書・玩具の整備がなされているか	5	5	5
5	特別支援	特別支援保育・教育の理解を深めているか	5	5	5
		家庭との連携は十分なされているか	4	5	5
6	子育て支援事業	地域の子育て支援の相談は実施されているか	3	4	4

4 コメント

評価(1) 園を運営するにあたっての安全管理と、問題点についての解決の過程が明確に持たれている。育てたいこどもの力に対して、実施されている教育と保育の内容に整合が見受けられる。また、それらの力を「遊び」を通して獲得させようとしている園のねらいを感じ取ることができた。教室内の選択遊びの際には、保育室によって、こどもの声量が大きすぎると感じられる場面も見受けられた。

評価(2) 遊びの中で「就学までに育てない10の姿」を意図した、環境構成が行われており、こどもの成長発達を促しているように思われる。特筆すべきは集中して遊ぶ力であった。園が教育目標に掲げている「主体性」は、遊びの中で育つものであることを再認識できた。感染症対策が続く中ではあるが、園内研修等についても、リモート学習を活用したり、研修計画が充実している。専門的スキルを獲得していく土壌は十分にあるように感じた。今後の感染状況に照らし合わせながら、研修の拡充を実施されたい。

評価(3) 遊んでいても見学の大人がいるのに気付いたこどもはちゃんと挨拶ができていた。園庭でも教室でもこどもたちがのびのび遊んでいて安心した。地域の宝であるこども達が大事に育てられていることがわかった。

日時 令和5年2月6日（月）10時より

参加者 評価委員3名
 (地域民生委員 伊奈茂昌 七条幼稚園園長 捨田利忠輝 主任教諭 谷川良香)